

Leica トータルステーション連携 Bluetooth 受信機 ペアリング設定マニュアル (Parani-SD1000)



- このマニュアルは、3DMG+トータルステーション連携で利用するBluetooth受信機（Parani-SD1000）を、Leica製トータルステーションとペアリング（接続設定）するための手順書です。
 - Parani-SD1000 は、トータルステーションが出力する座標値をBluetooth経由で3DMGコントローラへ伝送します。Bluetoothの送信可能距離は約100mです。
 - 設定にはWindows PCと設定ツール「ParaniWin」、USBシリアル変換ケーブルが必要です。
-
- Bluetooth設定確認済み対応モデル

メーカー	モデル	備考
ライカ	TS13	
	TS16	本マニュアルで動作確認済み
	TS20	

01

Chapter

概要

1.1 設定の流れ

準備物の確認・設定準備



ParaniWin で Parani-SD1000 にシリアル接続



トータルステーション との Bluetooth ペアリング
(Search → Connect → Disconnect)



動作モード (MODE1) の設定・書込み (Apply)



動作確認 (Bluetooth 自動接続・Information 確認)

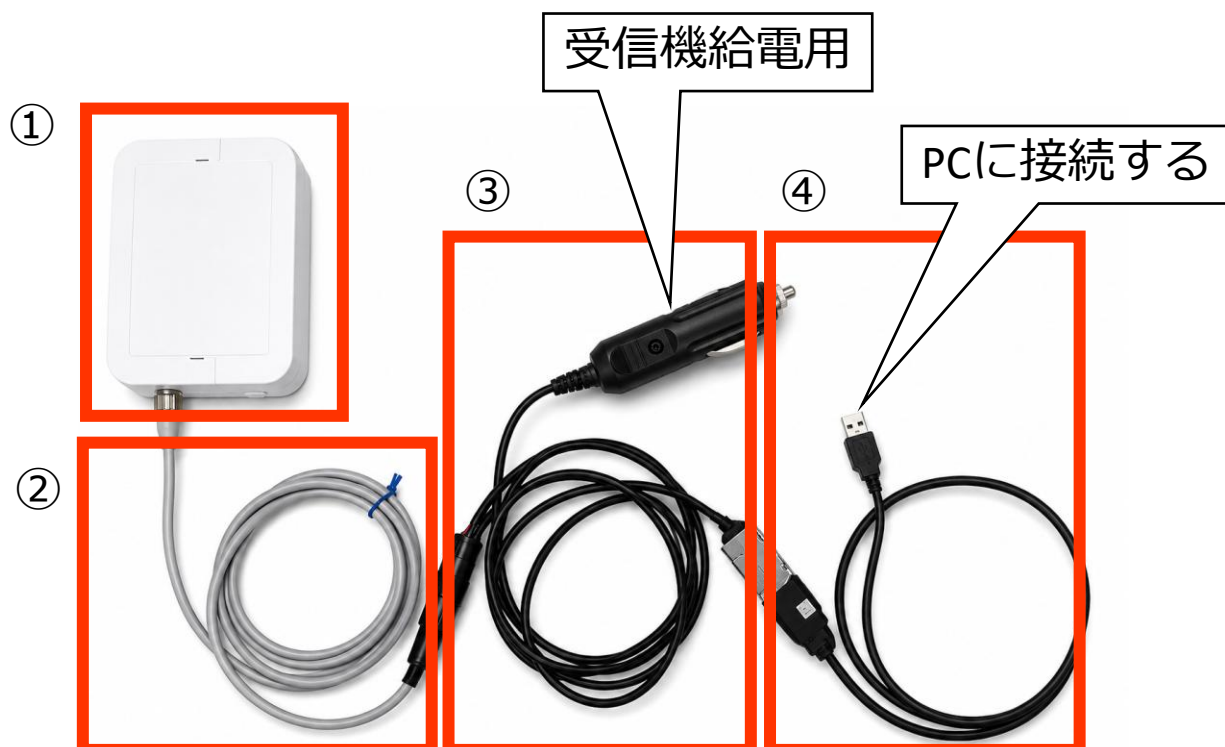
1.2 準備物・設定準備

本ペアリング設定には下記を準備してください。

- ①Bluetooth受信機（Parani-SD1000。防水ボックス内蔵）
- ②Bluetooth受信機用ケーブル
- ③Bluetooth受信機とTSのペアリング設定用ケーブル
- ④USBシリアル変換ケーブル(Parani-SD1000とPCの接続用)
- ⑤Leica トータルステーション（TS13／TS16／TS20）
- ⑥WindowsPC(設定ツール「ParaniWin」インストール済)※

※設定ツール「ParaniWin」は、下記サポートページから最新版のインストーラをダウンロードし、PCへインストールしてください。

<https://intersolutionmarketing.jp/support/software.html>



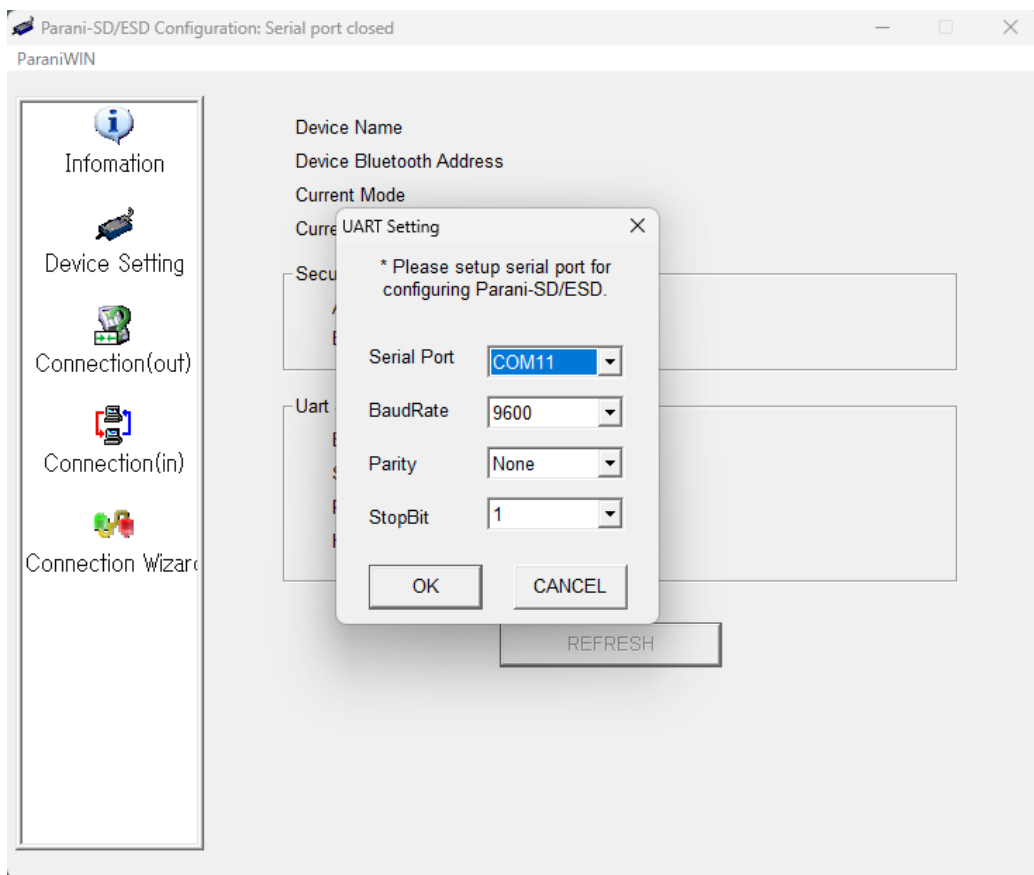
02

Chapter

ParaniWinでの設定

2.1 ParaniWin の起動とシリアル接続

- Parani-SD1000 を USB シリアル変換ケーブルで PC に接続し、設定ツール「ParaniWin」を起動します。
- 表示される「UART Setting」画面で、接続先の Serial Port（COM ポート）と通信条件を設定し「OK」をクリックします。

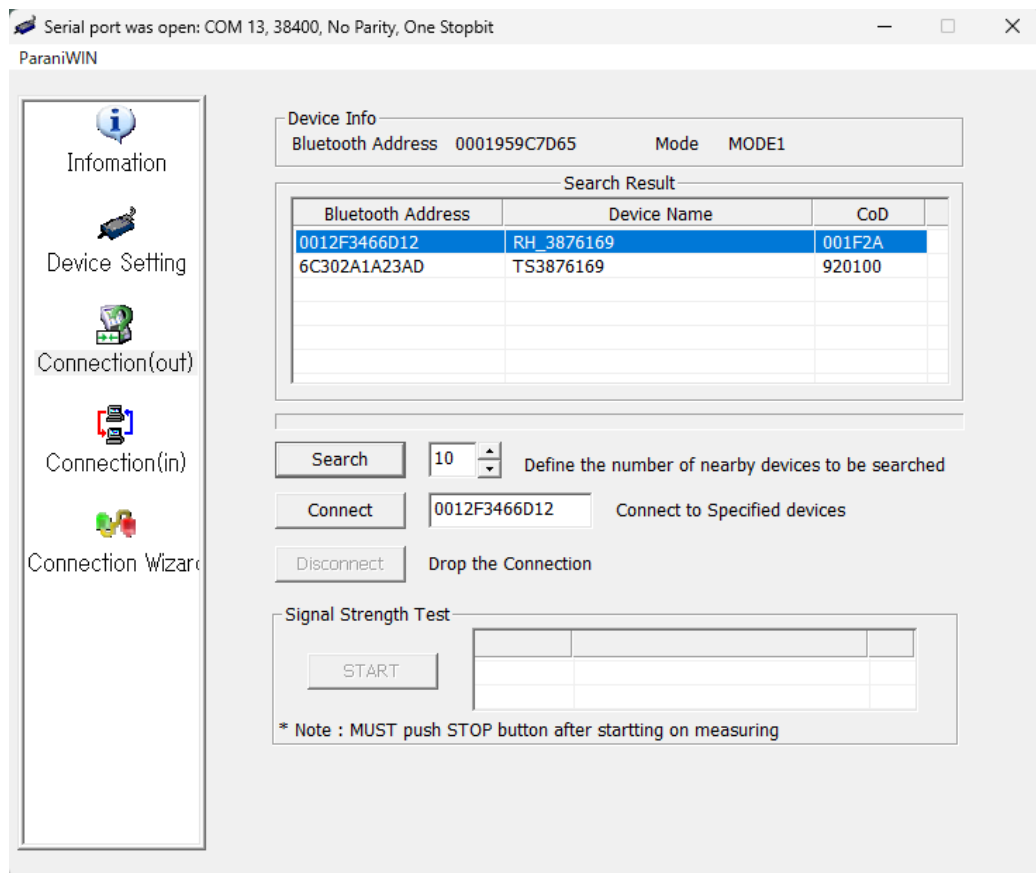


【注意】

Parani-SD1000 の出荷時の Baud Rate は 9600 です。本連携では 38400 を使用します（後述の Device Setting で変更）。

2.2 Bluetooth デバイスの検索 (Search)

- 左メニューの「Connection(out)」を選択し、「Search」をクリックします。
- 周辺の Bluetooth 機器が検索され、Search Result に一覧表示されます。
- 接続する Leica トータルステーション（例：RH_3876169）を一覧から選択します。



【注意】

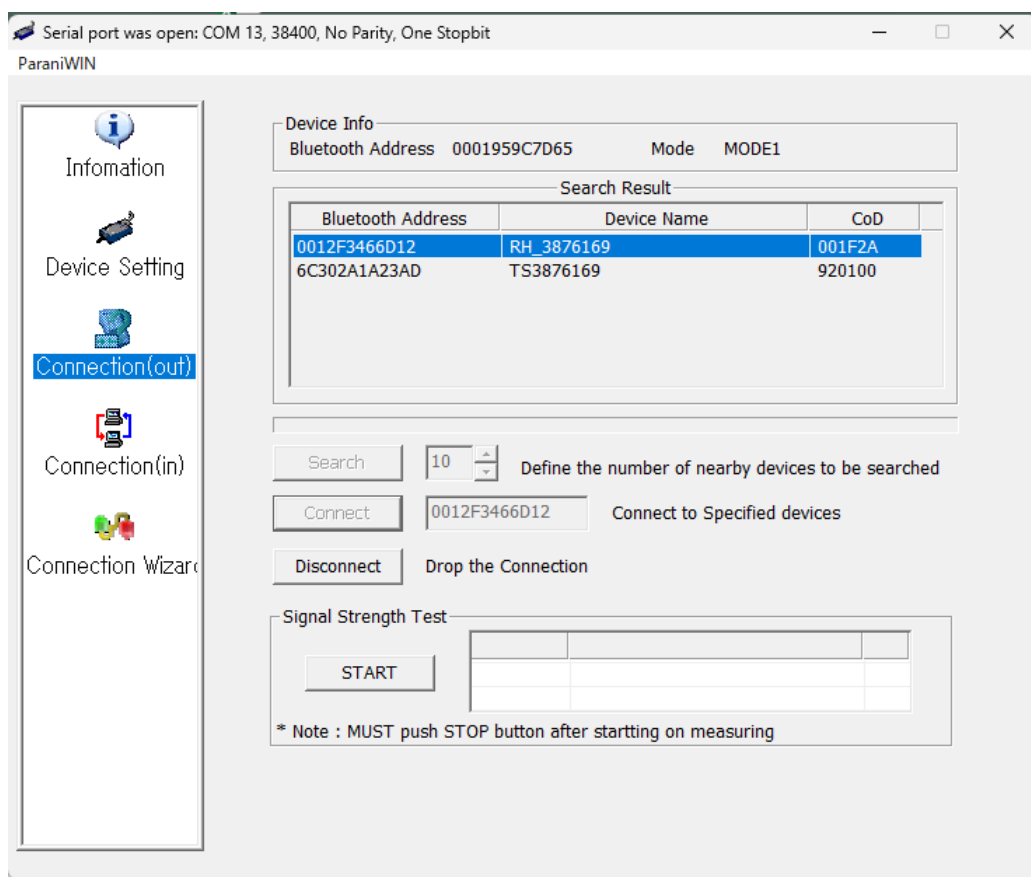
Search Resultにペアリング設定するトータルステーションが表示されない場合、以下を確認してください。

- トータルステーションの電源が入っているか。
- トータルステーションのBluetoothが有効か。

2.3 トータルステーションへの接続 (Connect)

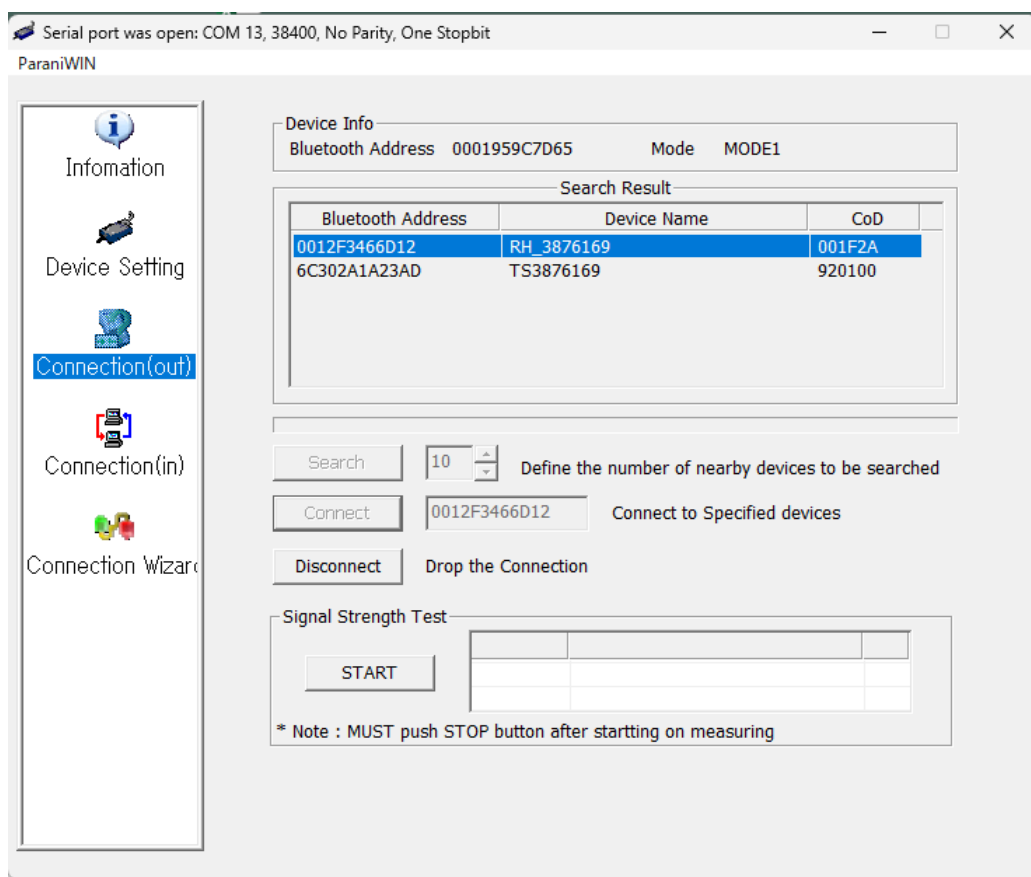


- 検索結果から対象デバイスを選択した状態で「Connect」をクリックします。
- 接続が確立すると「Disconnect」ボタンが有効になり、接続状態になります。



2.4 接続確認と切断 (Disconnect)

- 接続が正常に完了したことを確認します（Disconnect ボタンが有効、対象デバイスが選択状態）。
- 確認後「Disconnect」をクリックして一度接続を切断し、続けて動作モードの設定を行います。



【注意】

MODE1 設定の前に、必ず一度ペアリング（接続実績）を作成してください。最後に接続した相手が自動再接続先になります。

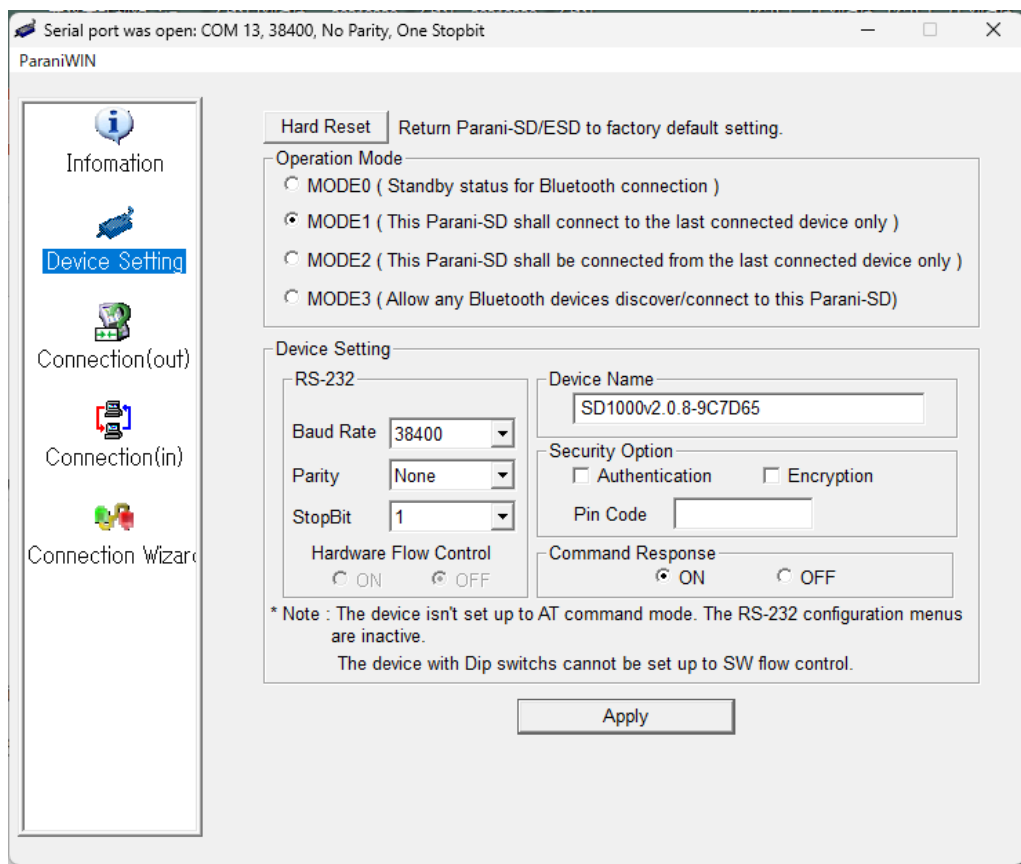
03

Chapter

動作モード設定

3.1 Operation Mode (MODE1) の設定

- 左メニューの「Device Setting」を選択します。
- Operation Mode で「MODE1」を選択します。MODE1 は、電源 ON 時に最後へ接続した相手（トータルステーション）へ自動的に再接続するモードです。

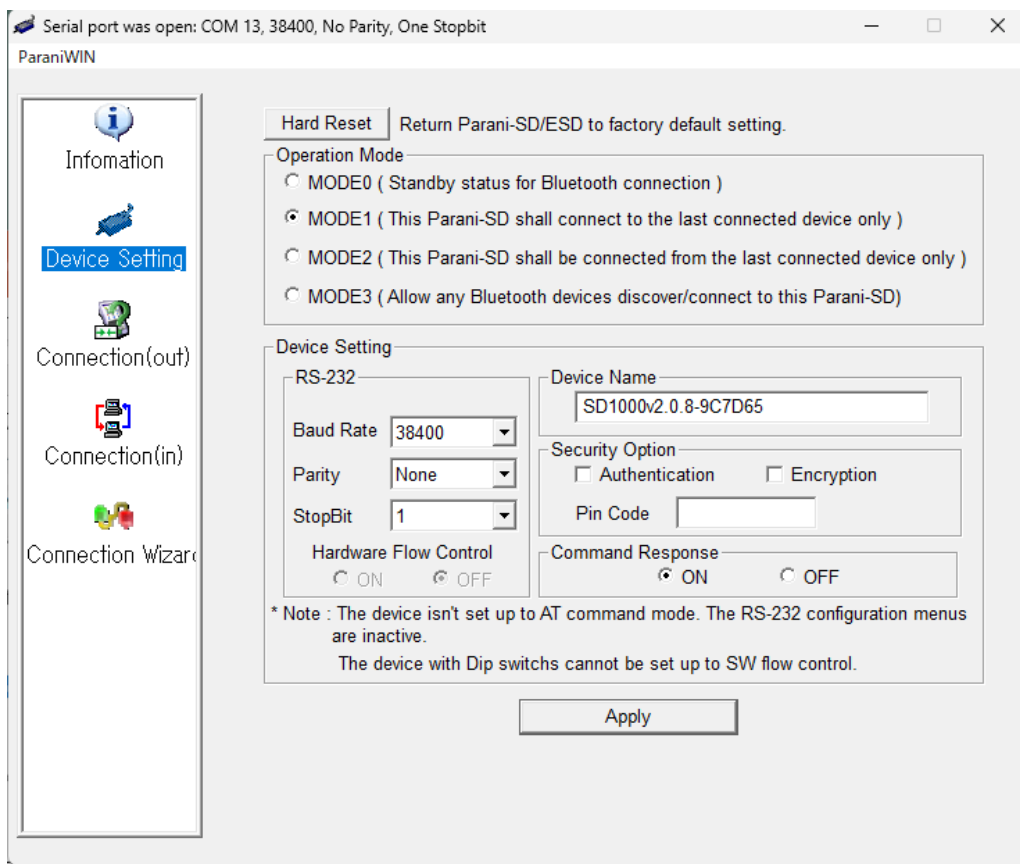


【注意】

MODE1 を選択しないと起動時に トータルステーション へ自動接続されません。各モードの意味を確認のうえ MODE1 を選択してください。

3.2 通信設定の書込みと再起動 (Apply)

- Device Setting の RS-232 「Baud Rate」を 38400 に設定します。
- 設定内容を確認し、画面下部の「Apply」をクリックして Parani-SD1000 へ書き込みます。
- 書込み後、Parani-SD1000 を再起動します。



【注意】

Baud Rate は 38400 を設定してください（出荷時は 9600）。
Apply 後、再起動するまで設定は反映されません。

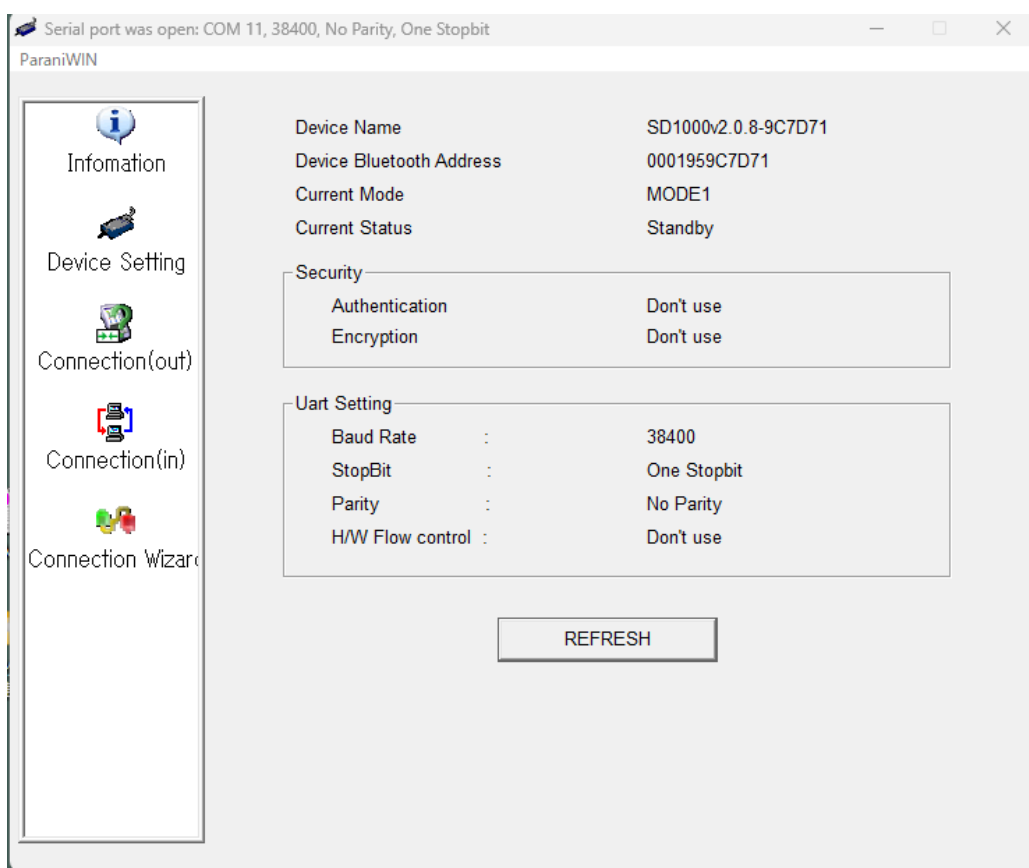
04

Chapter

動作確認

4.1 接続状態の確認 (Information)

- Parani-SD1000 を再起動後、トータルステーション を起動すると Bluetooth が自動接続されることを確認します。
- 左メニューの「Information」を選択し、Current Mode が「MODE1」、Baud Rate が「38400」であることを確認します。



【注意】

自動接続されない場合は、ペアリングと MODE1 の設定を再確認してください。別機器へ流用する場合は再度ペアリングが必要です。

商品に関するお問い合わせ

株式会社EARTHBRAIN

サポートサイト問い合わせ：

<https://support.smartconstruction.com/hc/ja/requests/new>

リンクより問い合わせフォームに遷移します。